

於 二宮町教育委員会事務局

平成25年2月22日

二宮町教育委員会会議録

(定例会)・臨時会)

二宮町教育委員会

1. 開会時間 10時 00分
2. 閉会時間 12時 55分
3. 委員長名 飯塚 富美
4. 署名委員
5. 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	飯塚 富美
2	○	小林 徳博
3	○	井出 真理子
4	○	蓮實 茂夫
5	○	内海 博治

6. 出席者氏名 教育次長 石井博司
 参事兼生涯学習課長 宮川康廣
 教育総務課長 松本幸生
 教育総務課指導班主幹 伊庭しげみ
 教育総務課指導班主幹 北川慶太
 教育総務課教育総務班主査 竹本直昭
 教育総務課教育総務班主事 関田智恵子
7. 傍聴者 2名
8. 調製者 教育総務課教育総務班主事 関田智恵子

平成24年度2月教育委員会定例会会議録

日時：平成25年2月22日（金）
午前10時00分より
場所：二宮町役場 第一会議室

— 開会宣言 —

（委員長）平成24年度2月定例教育委員会議を開催します。

— 署名委員の指名 —

蓮實委員を指名する。

— 教育長事務報告 —

（教育長）2月事務報告を行う。

（教育次長）2月政策会議報告を行う。

（各課長）各課の事業報告・事業予定について説明する。

- （小林委員）二宮町の幼稚園は私立ですが、これまで教育委員会としてはどのような関わり方をしていましたか。機構改革に伴い「子ども育成課」が新設され、25年度からは幼稚園関係はそちらが担当になるとのことですが、教育というひとつの流れの中で、文部科学省系列の幼稚園から教育の部分を完全に切り離して福祉関係の子ども育成課に移管することはできないと思います。指導関係は引き続き教育委員会の範中だと思いますので、その辺りを子ども育成課とどのように調整していくかが大きな課題になると思います。現在私立幼稚園に対しては予算面での支援等を行っていたかと思いますが、そちらも子ども育成課に移管されるのですか。
- （教育総務課長）私立のため、それぞれの教育理念のもとに教育を行われていますので、教育委員会としては直接的な教育の指導はできないものと考えています。教育三法の中で私立学校に対しては助成が出来ることとなっておりましたので、教育委員会としては、園の運営に対する助成や保護者の就園に対しての補助を行っていました。こちらについては来年度から子ども育成課に移管されますが、幼稚園と小学校との連携は大事ですので、小学校の立場として今後も引き続き情報交換等を実施し、幼稚園・保育園・小学校の連携は推進したいと考えています。
- （小林委員）引き続き幼稚園・保育園・小学校の連携が図れるような体制作りを進めてください。
- （井出委員）機構改革を行う目的は、新しい総合計画の初年度なので、前面に掲げている「子育て・子育ての町」にあたって行うものと解釈してよろしいのでしょうか。
- （教育総務課長）総合計画との関連については確認していませんが、国の制度が一本化されるという動きがありますので、その流れに沿い幼稚園と保育園を一つの部署にするということと、二宮町として子育て施策を充実させるということの2つの意味合いでの移管ではないかと思います。

- （井出委員）子ども育成課への移管後も連携は大事になると思います。教育の連続性は子どもにとって大事ですので、幼稚園・保育園・小学校の連携については今後の実施方法を協議していただきたいと思います。機構改革は、今年度中に規則改正を行い4月から施行するのですか。
- （教育総務課長）そうです。なお、現在の「幼・保・小連携推進委員会」は、教育委員会が事務局ですが、保育園を所管している福祉課にも協力いただき運営してきた経緯もありますので、今後もうまく推進できるよう連携していきたいと思います。
- （委員長）今までの積み重ねがさらに発展していくよう連携をお願いいたします。
- （小林委員）学校図書館は1名の司書が両中学校で交互に活動しているとのことですが、今後両中学校に1名ずつ配置する予定があるのかについて教えてください。学校図書館の整備が進んでいますが、活用推進にあたっては生徒と司書の関係をより密接にする必要があり、両中学校に1名ずつ配置するとより良いのではないかと思います。
- （教育総務課長）中学校は生徒が部活動や学習塾等があるため小学校と比べ学校図書館の活用率が低いこと、生徒自身が図書委員として運営しているので司書教諭とは別に図書館指導員として司書を配置し全て大人がやってしまうことが良いのかということがあり、現在のような配置となっています。学校としては現在の形で運営できているとのことですが、中学生は小学生と比べて図書の貸し出し量や読書量が少ないという課題もあると聞いています。
- （小林委員）今後も現場の意見を取り入れて対応を検討していただければと思います。
- （教育総務課長）学校の状況を把握し、意見を尊重しながら対応を検討してまいります。
- （井出委員）福祉関係と教育関係の連携は今後さらに大事になると思います。インターネットで「子育ての町」と検索すると一番に出てくる自治体では、保育制度の充実により子育て世代を中心に人口が増加しているようですが、「子育て・子育て」ではやはり学校教育が主となるところもありますので、内部で連携し、風通しの良い体制作りが必要になると感じました。放課後子ども教室検討委員会では、小学校での実施も検討されており、25年度は小学校で実施されるというところまで話が進んでいると解してよろしいのですか。
- （参事兼生涯学習課長）25年度の放課後子ども教室を全て小学校で実施するというのではなく、試験的に一日程度各小学校で実施し、参加した児童や保護者の意見を伺ってみようということです。
- （井出委員）放課後子ども教室の実施に向けて新たな試みを行っていただくということですね。給食センター運営委員会において食物アレルギーに関する話題があったとのことですが、食物アレルギーを持つ子どもは、給食ではなく自宅からお弁当を持参しているのですか。
- （教育総務課長）ふりかけやパン等の代替品が用意できるものについては代替品を用意しますが、給食センターとしては食物アレルギーを持つ子ども用に別の給食を用意することは難しいので、希望する家庭にはアレルゲンを表記している献立表をお渡しし、アレルゲンを含む食材がある場合には自宅からお弁当等をお持ちいただいています。
- （小林委員）献立表により保護者が自主的に判断し、弁当を持参する旨の申告をするのですか。
- （教育総務課長）給食センターでは通常の分量を各学校に配布します。毎年行うアレルギー調査等により担任教諭はクラスの子どものアレルギーを把握していますので、学校と保護者で連携し対応しています。
- （小林委員）献立表だけでは保護者も学校も見落とししてしまう可能性があるのではないのでしょうか。

- (教育総務課長) いくつものミスが重なると見落としてしまう可能性がないこともないかと思いますが、学校ではアレルギー対策は徹底していますので大丈夫だと思っています。
- (小林委員) 今後も事故がないよう、チェック機能の再確認をお願いいたします。
- (教育長) 先日の東京都での事故後に、再度確認という意味で各学校長に対し通知を行いました。
- (運實委員) 給食センター運営委員会に委員として出席した際、アレルギー対策について質問しようと思っていたのですが、質問する前に給食センターの栄養士よりそのことについて説明があり、時期に適した話題だと思いました。会議では、インフルエンザで休んだ時の給食費返還について等の活発な質疑が行われました。会議全体を通して、新しい給食センターになり施設も新しくなり、安心安全に心掛けて運営を行っていることがよくわかりました。

— 付議事項 —

議案第12号(継続審議) 平成25年度二宮町教育委員会基本方針(案)について

(参事兼生涯学習課長・教育総務課長) 平成25年度二宮町教育委員会基本方針(案)の変更箇所について説明。

- (井出委員) 25年度教育委員会基本方針は24年度評価と並行して策定されたという認識でよろしいでしょうか。
- (教育総務課長) はい。
- (小林委員) 今までの教育委員会基本方針では教師が子どもを育てるという点に主眼を置いて書かれていましたが、教師自身も人権感覚を磨き育っていかなければならない、教師も自身を見つめようという点を入れていただいたことは良かったと思います。上からの視点も大事ですが、同じような目線で子どもたちに接する姿勢もなければ教育は成り立たないと思います。児童・生徒指導の中でも教職員と児童・生徒との関係を大事にすることを明記し良かったと思います。この点については、学校現場にもしっかり伝えていただきたいと思います。
- (委員長) 素晴らしい25年度の教育委員会基本方針が出来たと思いますので、紙だけに収まらず、教職員に浸透していくようにしていただきたいと思います。

(委員長) 各委員に、議案第12号について諮る。

委員全員賛成により、議案は承認される。

— 報告・協議事項 —

(1) 体罰の実態把握に関する調査について

(教育総務課長) 体罰の実態把握に関する調査について説明。

- (委員長) 教職員向けの調査で校長は全教職員とヒアリングするとありますが、どのようなことをヒアリングするか定めているのですか。
- (教育総務課長) 特に定めておりませんので、回答用紙に基づいてヒアリングを行うことになるかと思っています。

- （井出委員）教職員は全員アンケートを配布しヒアリングを行いますが、子どもたちは該当がなければ出さなくても良いとされているので、実際には該当があるにもかかわらず提出しない子どももいるかもしれないということを念頭に置かなければいけないと思います。また、体罰を受けていると記載された場合は慎重な対応になると感じました。
- （小林委員）有形な体罰だけでなく、無形のものについても子どもたちの心を傷つけることがあります。本調査ではそういうものも把握できるのか課題が有るように感じます。また、ただ体罰があったという事実を見つけるものではなく、もう少し教職員自身の高まり、人権意識の向上と並行して行っていただきたいと思います。
- （井出委員）委員のおっしゃる通りで、このアンケートを今後どう生かすかが試されていると思います。二宮は情報が集まりやすい環境ですので、教育委員会としてどのような指導を行うかが試されると思います。
- （小林委員）この調査から見えてくる今後の対応が大事で、教職員にも自信を持って子どもたちに接していけるようなものにしなければならないと思います。
- （井出委員）教職員同士でも新しい指導法を見つけ、自信を持って明るく子どもたちに向き合っていたいただきたいと思います。
- （小林委員）落ち込んだ時に指導して心を燃やしてくれるような先生もいましたので、そのような指導法を事例として教育委員会が伝えていく必要性も感じました。
- （委員長）この調査が混乱のもととならないような分析をし、このことでの気づきが今後の人権意識の向上・発展につながったら良いと思います。
- （運實委員）せっかく調査を行いますので、教職員から子どもたちにアンケートを提出するよう呼び掛ける、空いている時間に話をする等この調査への意識向上を図っていただき、趣旨を理解したうえでの提出をしていただきたいと思います。
- （小林委員）今回の調査は学校が中心ですが、社会体育、特に青少年の育成をしている団体での大人の指導の在り方についても検証する必要があるのではないのでしょうか。「子育て・子育ての町 二宮」とするのであれば地域全体として考えていく必要があると思います。
- （参事兼生涯学習課長）4月以降に各団体が集まる機会がありますので、その際にお話ししたいと思います。
- （小林委員）よろしくお願いします。

（2）町立小中学校臨時休業について

（教育総務課教育総務班主査）町立小中学校臨時休業について説明。

（3）図書館雑誌スポンサー制度について

（参事兼生涯学習課長）図書館雑誌スポンサー制度について説明。

- （井出委員）見込みはどの程度ありますか。
- （参事兼生涯学習課長）ホームページでの募集だけでは効果は少ないと思いますので、生涯学習課に係る企業さんからご案内しようと考えています。なお、スポンサーが集まらない場合に

は、町の一般会計より購入します。

- (小林委員)町の財政に関わる内容ですが、条例ではなく要綱としての位置付けが良いのですか。
- (参事兼生涯学習課長)町の庁用車広告掲載要綱を参考にしつつ、すでに雑誌スポンサー制度を実施している自治体の状況なども調査し要綱に位置付けました。

(4) その他

(教育総務課教育総務班主査)平成24年度小中学校卒業式及び平成25年度小中学校入学式分担(案)について説明。

— 休憩 —

傍聴者退席

— 付議事項 —

議案第13号 平成24年度二宮町一般会計補正予算(案)について

議案第14号 平成25年度二宮町予算(案)について

議案第13、14号議案については非公開。

— 次回教育委員会予定 —

(教育総務課教育総務班主査)次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

— 閉会宣言 —

(委員長)平成24年度2月定例教育委員会議を終了いたします。

12時55分 終了